(19) 世界知的所有権機関 国際事務局





(43) 国際公開日 2005 年7 月14 日 (14.07.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/063968 A1

(51) 国際特許分類7:

C12N 5/06, 5/08

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/019818

(22) 国際出願日:

2004年12月27日(27.12.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ: 特願 2003-434035

2003年12月26日(26.12.2003) 3

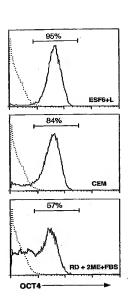
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会 社ジーエスプラッツ (GS PLATZ CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1030027 東京都中央区日本橋一丁目7番11号日 本橋東ビル Tokyo (JP).

- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 古江 美保 (FU-RUE, Miho) [JP/JP]; 〒2388580 神奈川県横須賀市稲岡町82 神奈川歯科大学・生体機能学講座・生化学分子生物学分野内 Kanagawa (JP). 岡本哲治 (OKAMOTO, Tetsuji) [JP/JP]; 〒7348553 広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院・医歯薬学総合研究科・先進医療開発科学講座・分子口腔医学・顎顔面外科学内 Hiroshima (JP). 浅島 誠 (ASASHIMA, Makoto) [JP/JP]; 〒1538902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 大野 聖二, 外(OHNO, Seiji et al.); 〒1006036 東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 5 号 霞が関ビル 3 6 階 大野総合法律事務所 Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: BASAL MEDIUM FOR ES CELL CULTURING

(54) 発明の名称: ES細胞培養用基礎培地



(57) Abstract: A culture medium for serum-free medium that is capable of culturing ES cells for a prolonged period of time while retaining anaplasticity without the use of feeder cells; and a basal medium for production of such a culture medium. There is provided a basal medium characterized by having the composition of Table 1. There is further provided a culture medium for ES cells produced by this basal medium.

(57) 要約:

フィーダー細胞なしで、未分化性を維持したままES細胞を長期に培養しうる無血清培地用の培地、およびこのような培地を製造するための基礎培地が開示される。本発明の基礎培地は表Iに示される組成を有することを特徴とする。また、この基礎培地により製造されるES細胞用培地も開示される。

- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護 が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ,

BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), $\exists -\Box \gamma \land (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).$

添付公開書類:

一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

1

明細書

ES細胞培養用基礎培地

技術分野

5 本発明は哺乳動物のES細胞を培養するための培地を調製するための基礎培地 に関する。

背景技術

胚性幹(ES)細胞は未分化性を示し、生物の発生過程においてインビトロであらゆるタイプの分化した細胞を発生させる能力を有する。ES細胞の自己複製能および未分化性は、ウシ胎児血清を補充した培養用培地を用いて、フィーダー細胞またはLIFの存在下で維持しうることが知られている(Zandstra, P.W., et al., Biotechnol Bioeng 69, 607-17 (2000))。しかし、現在広く用いられているこのような培養条件においては、ES細胞の分化を解析する際にフィーダー細胞を確実に除去することが困難であり、分化誘導因子の添加による影響を正確に解析することができない。また、フィーダー細胞なしで培養しうるES細胞株も知られているが、例えば、マウスES細胞株の1つであるES-D3は、フィーダー層なしの培養条件下では自発的に分化する傾向にある。

さらに、血清は、アクチビンおよび線維芽細胞成長因子や未知の分化誘導因子の、その量が変動する成分を含む。これらの成分は、種々の物質を外から加えて E S細胞の細胞成長および分化を解析する際に、分析結果に影響を与える可能性 がある。また、血清の使用はウイルス、プリオンや未知の因子などの感染の危険 性があり、再生医療への応用の際にはリスクを伴う。また、E S細胞の無血清培養条件についての報告もあるが、数代継代すると神経などに分化し、未分化性が 維持できない場合がある。

発明の開示

20

25

本発明は、フィーダー細胞なしで、未分化性を維持したままES細胞を長期に 培養しうる無血清培養用の培地、およびこのような培地を製造するための基礎培 地を提供することを目的とする。

本発明者らは、特定の組成を有する培地を用いることにより、フィーダー細胞 および血清なしで、未分化性を維持したままES細胞を培養しうることを見いだ した。すなわち、本発明は、以下の表 I:

5

表I

成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーアラニン	1.78~2.67	イノシトール	13.48~20.22
Lーアルギニン	40~60	ニコチン酸アミド	1.8074~2.7111
LーアルギニンHCI	75.8~113.7	ピリドキサールHCI	1.6~2.4
LーアスパラギンH₂O	13.002~19.503	ピリドキシンHCI	0.2124~0.3186
Lーアスパラギン酸	6.66~9.99	リボフラビン	0.2076~0.3114
LーシステインHCI•H₂O	7.024~10.536	チアミンHCI	1.868~2.802
Lーシスチン2HCI	38.058~57.087	ビタミンB ₁₂	0.273~0.4095
Lーグルタミン酸	6.94~10.41	ヒポキサンチン	0.816~1.224
Lーグルタミン	439.72~659.58	リノール酸	0.0168~0.0252
グリシン	15.5~23.25	リポ酸(チオクト酸)	0.042~0.063
Lーヒスチジン	3~30	プロレッシンニ塩酸塩	0.0322~0.0483
Lーヒドロキシプロリン	4~6	チミジン	0.146~0.219
Lーイソロイシン	52.748~79.122	塩化ナトリウム	5279.8~7919.7
Lーロイシン	54.58~81.87	塩化カリウム	284.72~427.08
LーリジンHCI	73.74~110.61	塩化カルシウム(無水)	86.644~129.966
Lーメチオニン	15.896~23.844	硝酸カルシウム4H ₂ O	20~30
Lーフェニルアラニン	30.392~45.588	塩化マグネシウム(無水)	11.444 ~1 7.166
Lープロリン	10.9~16.35	硫酸マグネシウム(無水)	48.844~73.266
Lーセリン	24.9~37.35	リン酸二水素ナトリウム (無水)	43.48~65.22
Lースレオニン	44.42~66.63	リン酸一水素ニナトリウム (無水)	188.408~ 282.612
Lートリプトファン	7.808~11.712	ブドウ糖(無水)	1860.4~2790.6
Lーチロシン	33.888~50.832	ピルビン酸ナトリウム	0.001~220
Lーバリン	43.86~65.79	硝酸第二鉄9H₂O	0.04~0.06
グルタチオン	0.2~0.3	硫酸銅5H ₂ O	0.0005~0.00075
パラアミノ安息香酸	0.2~0.3	硫酸第一鉄7H ₂ O	0.1668~0.2502
ビオチン	0.04148~0.06222	硫酸亜鉛7H₂O	0.1728~0.2592
パントテン酸カルシウム	1.746~2.619	亜セレン酸ナトリウム	0.000692~ 0.00348
塩化コリン	4.992~7.488	フェノールレッド	5.248~7.872
葉酸	2.06~3.09		

に示される組成を有することを特徴とする、ES細胞培養用培地を調製するための基礎培地を提供する。

別の態様においては、本発明は、以下の表 I I:

5

表II

成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーアラニン	1.78~2.67	葉酸	2.06~3.09
Lーアルギニン	40~60	イノシトール	13.48~20.22
LーアルギニンHCI	75.8~113.7	ニコチン酸アミド	1.8074~2.7111
LーアスパラギンH₂O	13.002~19.503	ピリドキサールHCI	1.6~2.4
Lーアスパラギン酸	6.66~9.99	ピリドキシンHCI	0.2124~0.3186
LーシステインHCI・H₂O	7.024~10.536	リボフラビン	0.2076~0.3114
Lーシスチン2HCI	38.058~57.087	チアミンHCl	1.868~2.802
Lーグルタミン酸	6.94~10.41	ビタミンB12	0.273~0.4095
Lーグルタミン	439.72~659.58	ヒポキサンチン	0.816~1.224
グリシン	15.5~23.25	リノール酸	0.0168~0.0252
Lーヒスチジン	3~30	リポ酸(チオクト酸)	0.042~0.063
Lーヒドロキシプロリン	4~6	プロレッシン二塩酸塩	0.0322~0.0483
Lーイソロイシン	52.748~79.122	チミジン	0.146~0.219
Lーロイシン	54.58~81.87	塩化ナトリウム	5279.8~7919.7
LーリジンHCI	73.74~110.61	塩化カリウム	284.72~427.08
Lーメチオニン	15.896~23.844	塩化カルシウム(無水)	86.644~129.966
Lーフェニルアラニン	30.392~45.588	硝酸カルシウム4H ₂ O *	20~30
Lープロリン	10.9~16.35	塩化マグネシウム(無水)	11.444~17.166
Lーセリン	24.9~37.35	硫酸マグネシウム(無水)	48.844~73.266
Lースレオニン	44.42~66.63	リン酸二水素ナトリウム (無水)	43.48~65.22
Lートリプトファン	7.808~11.712	リン酸ー水素ニナトリウム (無水)	188.408~ 282.612
Lーチロシン	33.888~50.832	ブドウ糖(無水)	1860.4~2790.6
Lーバリン	43.86~65.79	ピルビン酸ナトリウム	0.001~220
グルタチオン	0.2~0.3	硝酸第二鉄9H₂O	0.04~0.06
パラアミノ安息香酸	0.2~0.3	硫酸銅5H ₂ O	0.0005~0.00075
ビオチン	0.04148~0.06222	硫酸第一鉄7H2O	0.1668~0.2502
パントテン酸カルシウム	1.746~2.619	硫酸亜鉛7H ₂ O	0.1728~0.2592
塩化コリン	4.992~7.488	フェノールレッド	5.248~7.872

に示される組成を有することを特徴とする、ES細胞培養用培地を調製するための基礎培地を提供する。

また別の態様においては、本発明は、以下の表 I I I:

表III

成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーア ラ ニン	1.78~2.67	葉酸	2.06~3.09
Lーアルギニン	40~60	イノシトール	13.48~20.22
LーアルギニンHCI	75.8~113.7	ニコチン酸アミド	1.8074~2.7111
LーアスパラギンH ₂ O	13.002~19.503	ピリドキサールHCI	1.6~2.4
Lーアスパラギン酸	6.66~9.99	ピリドキシンHCI	0.2124~0.3186
LーシステインHCI・H ₂ O	7.024~10.536	リボフラビン	0.2076~0.3114
Lーシスチン2HCI	38.058~57.087	チアミンHCI	1.868~2.802
Lーグルタミン酸	6.94~10.41	ビタミンB ₁₂	0.273~0.4095
Lーグルタミン	439.72~659.58	ヒポキサンチン	0.816~1.224
グリシン	15.5~23.25	リノ一ル酸	0.0168~0.0252
Lーヒスチジン	3~30	リポ酸(チオクト酸)	0.042~0.063
Lーヒドロキシプロリン	4~6	プロレッシン二塩酸塩	0.0322~0.0483
Lーイソロイシン	52.748~79.122	チミジン	0.146~0.219
Lーロイシン	54.58~81.87	塩化ナトリウム	5279.8~7919.7
LーリジンHCI	73.74~110.61	塩化カリウム	284.72~427.08
Lーメチオニン	15.896~23.844	塩化カルシウム(無水)	86.644~129.966
Lーフェニルアラニン	30.392~45.588	硝酸カルシウム4H ₂ O	20~30
Lープロリン	10.9~16.35	塩化マグネシウム(無水)	11.444~17.166
Lーセリン	24.9~37.35	硫酸マグネシウム(無水)	48.844~73.266
Lースレオニン	44.42~66.63	リン酸二水素ナトリウム (無水)	43.48~65.22
Lートリプトファン	7.808~11.712	リン酸一水素ニナトリウム (無水)	188.408~ 282.612
Lーチロシン	33.888~50.832	ブドウ糖(無水)	1860.4~2790.6
Lーバリン	43.86~65.79	硝酸第二鉄9H₂O	0.04~0.06
グルタチオン	0.2~0.3	硫酸銅5H ₂ O	0.0005~0.00075
パラアミノ安息香酸	0.2~0.3	硫酸第一鉄7H2O	0.1668~0.2502
ビオチン	0.04148~0.06222	硫酸亜鉛7H ₂ O	0.1728~0.2592
パントテン酸カルシウム	1.746~2.619	フェノールレッド	5.248~7.872
塩化コリン	4.992~7.488		

5 に示される組成を有することを特徴とする, ES細胞培養用培地を調製するため の基礎培地を提供する。

別の態様においては、本発明の基礎培地は、 $2.5 \sim 4.5 \text{ g/LのHEPE}$ S、および所望のpHに調節するために必要な量の $NaHCO_3$ をさらに含む。

さらに別の態様においては、本発明は、本発明のES細胞培養用培地を用いる ことを特徴とするES細胞の培養方法を提供する。

図面の簡単な説明

5 図1は、各種培地で培養したES-D3細胞におけるOct3/4発現のフローサイトメトリ分析を示す。

図2は、ES-D3細胞の成長に及ぼすLIF濃度の影響を示す。

図3は、ESF7培地およびCEM培地で培養したES-D3細胞の増殖を示す。

10

15

20

25

発明の詳細な説明

本発明においては、フィーダー細胞の非存在下で未分化マウスES細胞を成長 させるための無血清合成培地を調製するための基礎培地が提供される。本発明の 基礎培地(以下、ESF培地と称する)は、水に、上の表に示される各成分を所 定の濃度となるように加え、さらに 2. $5 \sim 4$. 5 g/LのHEPES、および 所望のpHに調節するために必要な量のNaHCO3を加えた後、当該技術分野 においてよく知られる方法を用いて滅菌することにより、容易に製造することが できる。塩基性アミノ酸等の塩基性成分は、遊離塩基の形で加えても、HC1塩 等の塩の形で加えてもよい。本発明の基礎培地に、6因子(6F;インスリン、 トランスフェリン、2-ME、2-エタノールアミン、亜セレン酸ナトリウム、 無脂肪酸ウシ血清アルブミンと複合体化したオレイン酸)およびLIF(白血病 抑制因子)を補充して、本発明のES細胞培養用培地(以下、ESF7培地と称 する)を製造する。これらの6因子およびLIFは市販されている。このESF 7 培地を用いることにより、ES細胞をタイプ I コラーゲン被覆フラスコで無血 清条件下で維持することができる。あるいは、本発明のES細胞培養用培地は、 市販の培地を適宜混合することにより製造してもよい。例えば、市販のRPMI、 DMEMおよびF12を1:2:1の割合で混合し、HEPES、NaHCO3、 ピルビン酸、亜セレン酸ナトリウムを添加して作成することにより簡便に製造す ることができるが、 $L-EスチジンHCl\cdot H_2O$ の代わりに、L-Eスチジン

5

を計23.165g/L添加して使用する方が好ましい。

後述の実施例に示されるように、本発明にしたがってESF7培地でマウスES細胞を培養すると、ES細胞は、転写因子Oct3/4、幹細胞マーカーSSEA-1、およびアルカリホスファターゼの発現により表されるように、未分化の表現型を維持した。また、このようにして維持した未分化細胞に、骨形成因子4(BMP4)を加えると上皮様細胞への分化が誘導された。また、アクチビンAを加えると、ES細胞の線維芽細胞様細胞および棘状細胞への分化が促進された。すなわち、本発明にしたがってESF7培地で培養したES細胞は、分化誘導因子の刺激により特定の細胞に分化する能力を維持していた。

本発明の基礎培地においては、L-アラニンの濃度は、1.78 mg/L~2.67 10 mg/L, 好ましくは 2.0025 mg/L \sim 2.4475 mg/L, より好ましくは 2.11375 mg/L~2.33625 mg/L である。L-アルギニンの濃度は、40 mg/L~60 mg/L, 好ま しくは 45 mg/L~55 mg/L, より好ましくは 47.5 mg/L~52.5 mg/L である。 L -アルギニンHC1の濃度は、75.8 mg/L~113.7 mg/L、好ましくは85.275 $mg/L\sim 104.225 mg/L$, より好ましくは $90.0125 mg/L\sim 99.4875 mg/L$ である。 15 L-アスパラギンH₂Oの濃度は、13.002 mg/L~19.503 mg/L、好ましくは 14.62725 mg/L~17.87775 mg/L, より好ましくは 15.43988 mg/L~17.06513 mg/L である。L-アスパラギン酸の濃度は、6.66 mg/L~9.99 mg/L、好ましく は $7.4925 \text{ mg/L} \sim 9.1575 \text{ mg/L}$ 、より好ましくは $7.90875 \text{ mg/L} \sim 8.74125 \text{ mg/L}$ である。 $L-システインHC1 \cdot H_2O$ の濃度は、 $7.024 \text{ mg/L} \sim 10.536 \text{ mg/L}$ 、 20 好ましくは 7.902 mg/L~9.658 mg/L, より好ましくは 8.341 mg/L~9.219 mg/L である。L-シスチン2HC1 の濃度は、 $38.058 mg/L\sim57.087 mg/L$ 、 好ましくは $42.81525 \text{ mg/L} \sim 52.32975 \text{ mg/L}$, より好ましくは $45.19388 \text{ mg/L} \sim$ 49.95113 mg/L である。L - グルタミン酸の濃度は, 6.94 mg/L~10.41 mg/L, 好ましくは 7.8075 mg/L~9.5425 mg/L,より好ましくは 8.24125 mg/L~ 25 9.10875 mg/L である。L - グルタミンの濃度は、439.72 mg/L~659.58 mg/L, 好ましくは 494.685 mg/L~604.615 mg/L, より好ましくは 522.1675 mg/L~ 577.1325 mg/L である。グリシンの濃度は、15.5 mg/L~23.25 mg/L, 好ましく は 17.4375 mg/L~21.3125 mg/L,より好ましくは 18.40625 mg/L~20.34375

WO 2005/063968

mg/L である。L-ヒスチジンの濃度は、3 mg/L~30 mg/L, 好ましくは $20.8485 \text{ mg/L} \sim 25.4815 \text{ mg/L}$ 、より好ましくは $22.00675 \text{ mg/L} \sim 24.32325$ mg/L である。 $L-ヒドロキシプロリンの濃度は、<math>4 mg/L\sim 6 mg/L$ 、好ましく は $4.5 \text{ mg/L} \sim 5.5 \text{ mg/L}$, より好ましくは $4.75 \text{ mg/L} \sim 5.25 \text{ mg/L}$ である。 L -イソロイシンの濃度は、52.748 mg/L~79.122 mg/L、好ましくは 59.3415 mg/L 5 ~72.5285 mg/L, より好ましくは 62.63825 mg/L~69.23175 mg/L である。 L -ロイシンの濃度は、54.58 mg/L~81.87 mg/L、好ましくは61.4025 mg/L~ 75.0475 mg/L, より好ましくは 64.81375 mg/L \sim 71.63625 mg/L である。L \sim リジンHC1の濃度は、73.74 mg/L~110.61 mg/L、好ましくは82.9575 mg/L \sim 101.3925 mg/L, より好ましくは87.56625 mg/L \sim 96.78375 mg/L である。L 10 -メチオニンの濃度は、15.896 mg/L~23.844 mg/L、好ましくは 17.883 mg/L \sim 21.857 mg/L, より好ましくは 18.8765 mg/L \sim 20.8635 mg/L である。L-フ エニルアラニンの濃度は、30.392 mg/L~45.588 mg/L, 好ましくは34.191 $mg/L\sim41.789$ mg/L, より好ましくは 36.0905 $mg/L\sim39.8895$ mg/L である。 L-プロリンの濃度は、 $10.9 \text{ mg/L} \sim 16.35 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $12.2625 \text{ mg/L} \sim$ 15 14.9875 mg/L, より好ましくは $12.94375 \text{ mg/L} \sim 14.30625 \text{ mg/L}$ である。 L -セリンの濃度は、24.9 mg/L~37.35 mg/L, 好ましくは28.0125 mg/L~34.2375 mg/L, より好ましくは 29.56875 mg/L~32.68125 mg/L である。 L - スレオニ ンの濃度は、44.42 mg/L~66.63 mg/L、好ましくは 49.9725 mg/L~61.0775 mg/L, より好ましくは 52.74875 mg/L~58.30125 mg/L である。 Lートリプト 20 ファンの濃度は、7.808 mg/L~11.712 mg/L、好ましくは8.784 mg/L~10.736 mg/L, より好ましくは 9.272 $mg/L \sim 10.248 \, mg/L$ である。 L - チロシンの濃度 は、 $33.888 \text{ mg/L} \sim 50.832 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $38.124 \text{ mg/L} \sim 46.596 \text{ mg/L}$ 、よ り好ましくは 40.242 mg/L~44.478 mg/L である。 L - バリンの濃度は、43.86 mg/L~65.79 mg/L, 好ましくは 49.3425 mg/L~60.3075 mg/L, より好ましく 25 は $52.08375 \, \text{mg/L} \sim 57.56625 \, \text{mg/L} \, である$ 。

グルタチオンの濃度は、 $0.2 \text{ mg/L} \sim 0.3 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $0.225 \text{ mg/L} \sim 0.275 \text{ mg/L}$ 、より好ましくは $0.2375 \text{ mg/L} \sim 0.2625 \text{ mg/L}$ である。パラアミノ安息香酸の濃度は、 $0.2 \text{ mg/L} \sim 0.3 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $0.225 \text{ mg/L} \sim 0.275 \text{ mg/L}$ 、より

WO 2005/063968

好ましくは 0.2375 mg/L~0.2625 mg/L である。ビオチンの濃度は、0.04148 mg/L~0.06222 mg/L, 好ましくは 0.046665 mg/L~0.057035 mg/L, より好ま しくは $0.049258 \text{ mg/L} \sim 0.054443 \text{ mg/L}$ である。パントテン酸カルシウムの濃 度は、1.746 mg/L~2.619 mg/L、好ましくは 1.96425 mg/L~2.40075 mg/L、 より好ましくは 2.073375 mg/L~2.291625 mg/L である。塩化コリンの濃度は, 5 4.992 mg/L~7.488 mg/L, 好ましくは 5.616 mg/L~6.864 mg/L, より好ましく は 5.928 mg/L~6.552 mg/L である。葉酸の濃度は、2.06 mg/L~3.09 mg/L,好 ましくは $2.3175 \text{ mg/L} \sim 2.8325 \text{ mg/L}$, より好ましくは $2.44625 \text{ mg/L} \sim 2.70375$ mg/L である。イノシトールの濃度は, $13.48 mg/L \sim 20.22 mg/L$,好ましくは $15.165 \text{ mg/L} \sim 18.535 \text{ mg/L}$, より好ましくは $16.0075 \text{ mg/L} \sim 17.6925 \text{ mg/L}$ で 10 ある。ニコチン酸アミドの濃度は、1.8074 mg/L~2.7111 mg/L, 好ましくは $2.033325 \text{ mg/L} \sim 2.485175 \text{ mg/L}$, より好ましくは $2.146288 \text{ mg/L} \sim 2.372213$ mg/L である。ピリドキサールHC1の濃度は、 $1.6 mg/L \sim 2.4 mg/L$ 、好ましく は $1.8 \text{ mg/L} \sim 2.2 \text{ mg/L}$, より好ましくは $1.9 \text{ mg/L} \sim 2.1 \text{ mg/L}$ である。ピリドキ シンHC1の濃度は、0.2124 mg/L~0.3186 mg/L、好ましくは 0.23895 mg/L~ 15 0.29205 mg/L, より好ましくは $0.252225 \text{ mg/L} \sim 0.278775 \text{ mg/L}$ である。リボ フラビンの濃度は、0.2076 mg/L~0.3114 mg/L、好ましくは 0.23355 mg/L~ 0.28545 mg/L, より好ましくは $0.246525 \text{ mg/L} \sim 0.272475 \text{ mg/L}$ である。チア ミンHC1の濃度は、1.868 mg/L~2.802 mg/L、好ましくは2.1015 mg/L~ 2.5685 mg/L, より好ましくは 2.21825 mg/L~2.45175 mg/L である。ビタミン 20 B12の濃度は、0.273 mg/L~0.4095 mg/L、好ましくは0.307125 mg/L~ 0.375375 mg/L、より好ましくは $0.324188 \text{ mg/L} \sim 0.358313 \text{ mg/L}$ である。ヒポ キサンチンの濃度は、0.816 mg/L~1.224 mg/L, 好ましくは 0.918 mg/L~ 1.122 mg/L, より好ましくは 0.969 mg/L~1.071 mg/L である。リノール酸の濃 度は、 $0.0168 \text{ mg/L} \sim 0.0252 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $0.0189 \text{ mg/L} \sim 0.0231 \text{ mg/L}$ 、 25 より好ましくは 0.01995 mg/L~0.02205 mg/L である。リポ酸(チオクト酸) の濃度は、 $0.042 \text{ mg/L} \sim 0.063 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $0.04725 \text{ mg/L} \sim 0.05775$ mg/L, より好ましくは 0.049875 mg/L~0.055125 mg/L である。プロレッシン 二塩酸塩の濃度は、0.0322 mg/L~0.0483 mg/L、好ましくは0.036225 mg/L~

0.044275 mg/L, より好ましくは $0.038238 \text{ mg/L} \sim 0.042263 \text{ mg/L}$ である。チミジンの濃度は, $0.146 \text{ mg/L} \sim 0.219 \text{ mg/L}$,好ましくは $0.16425 \text{ mg/L} \sim 0.20075 \text{ mg/L}$,より好ましくは $0.173375 \text{ mg/L} \sim 0.191625 \text{ mg/L}$ である。

塩化ナトリウムの濃度は,5279.8 mg/L~7919.7 mg/L,好ましくは 5939.775 $mg/L\sim7259.725$ mg/L, より好ましくは 6269.763 $mg/L\sim6929.738$ mg/L であ 5 る。塩化カリウムの濃度は、284.72 mg/L~427.08 mg/L, 好ましくは320.31 $mg/L\sim391.49$ mg/L, より好ましくは 338.105 $mg/L\sim373.695$ mg/L である。 塩化カルシウム (無水) の濃度は、86.644 mg/L~129.966 mg/L、好ましくは 97.4745 mg/L~119.1355 mg/L, より好ましくは 102.8898 mg/L~113.7203 mg/L である。硝酸カルシウム $4 H_2$ Oの濃度は, $20 mg/L \sim 30 mg/L$,好ましく 10 は $22.5 \text{ mg/L} \sim 27.5 \text{ mg/L}$, より好ましくは $23.75 \text{ mg/L} \sim 26.25 \text{ mg/L}$ である。 塩化マグネシウム (無水) の濃度は、11.444 mg/L~17.166 mg/L、好ましくは $12.8745 \text{ mg/L} \sim 15.7355 \text{ mg/L}$, より好ましくは $13.58975 \text{ mg/L} \sim 15.02025$ mg/L である。硫酸マグネシウム(無水)の濃度は、48.844 mg/L~73.266 mg/L, 好ましくは $54.9495 mg/L \sim 67.1605 mg/L$, より好ましくは 58.0022515 mg/L~64.10775 mg/L である。リン酸二水素ナトリウム(無水)の濃度は, 43.48 mg/L~65.22 mg/L, 好ましくは 48.915 mg/L~59.785 mg/L, より好まし くは 51.6325 mg/L~57.0675 mg/L である。リン酸一水素二ナトリウム(無 水)の濃度は、 $188.408 \text{ mg/L} \sim 282.612 \text{ mg/L}$ 、好ましくは $211.959 \text{ mg/L} \sim$ $259.061 \, \text{mg/L}$ 、より好ましくは $223.7345 \, \text{mg/L} \sim 247.2855 \, \text{mg/L}$ である。ブド 20 ウ糖(無水)の濃度は,1860.4 mg/L~2790.6 mg/L,好ましくは 2092.95 mg/L \sim 2558.05 mg/L,より好ましくは 2209.225 mg/L \sim 2441.775 mg/L である。ピ ルビン酸ナトリウムの濃度は、0.001 mg/L~220 mg/L, 好ましくは 50 mg/L~ 170 mg/L, より好ましくは 100 mg/L~120 mg/L である。ピルビン酸ナトリウ ムは、基本培地中に含めず、後に添加してもよい。硝酸第二鉄9H2Oの濃度は、 25 $0.04 \text{ mg/L} \sim 0.06 \text{ mg/L}$, 好ましくは $0.045 \text{ mg/L} \sim 0.055 \text{ mg/L}$, より好ましくは 0.0475 mg/L~0.0525 mg/L である。硫酸銅 5 H₂Oの濃度は,0.0005 mg/L~ 0.00075 mg/L, 好ましくは 0.000563 mg/L~0.000688 mg/L, より好ましくは 0.000594 mg/L~0.000656 mg/L である。硫酸第一鉄 7 H₂〇の濃度は,0.1668

mg/L \sim 0.2502 mg/L,好ましくは 0.18765 mg/L \sim 0.22935 mg/L,より好ましくは 0.198075 mg/L \sim 0.218925 mg/L である。硫酸亜鉛 7 $\rm H_2O$ の濃度は,0.1728 mg/L \sim 0.2592 mg/L,好ましくは 0.1944 mg/L \sim 0.2376 mg/L,より好ましくは 0.2052 mg/L \sim 0.2268 mg/L である。亜セレン酸ナトリウムの濃度は,0.000692 mg/L \sim 0.00348 mg/L,好ましくは 0.000779 mg/L \sim 0.00291 mg/L,より好ましくは 0.000822 mg/L \sim 0.00263 mg/L である。亜セレン酸ナトリウムは,基本培地中に含めず,後に添加してもよい。フェノールレッドの濃度は,5.248 mg/L \sim 7.872 mg/L,好ましくは 5.904 mg/L \sim 7.216 mg/L,より好ましくは 6.232 mg/L \sim 6.888 mg/L である。

本発明の基礎培地に加えるHEPESの濃度は、2859.6 mg/L~4289.4 mg/L、 好ましくは 3217.05 mg/L~3931.95 mg/L、より好ましくは 3395.775 mg/L~ 3753.225 mg/L である。NaHCO₃の濃度は、1600 mg/L~2400 mg/L、好ま しくは 1800 mg/L~2200 mg/L、より好ましくは 1900 mg/L~2100 mg/L であ る。

15 本発明のES細胞培養用培地を用いることにより、フィーダー細胞を用いることなく、ES細胞を未分化性を維持したまま成長させることができる。このため、種々の因子がES細胞の分化に及ぼす影響を再現性をもって調べることができる。また、ES細胞からの特定の細胞や臓器への分化条件を確立することがより容易になり、予め規定された経路に沿って試験菅内(あるいは生体外で)で分化させるようES細胞を誘導することが可能となる。したがって、本発明のES細胞培養用培地は、再生医療への応用に向けたES細胞の研究に有用である。

本明細書において明示的に引用される全ての特許および参考文献の内容は全て本明細書の一部としてここに引用する。また、本出願が有する優先権主張の基礎となる出願である日本特許出願2003-434035号の明細書および図面に記載の内容は全て本明細書の一部としてここに引用する。

実施例

25

5

以下に実施例により本発明をより詳細に説明するが、これらの実施例は本発明 の範囲を制限するものではない。

実施例1

5

基礎培地の調製

以下の表に示される組成の基礎培地(ESF培地と称する)を作成し、定法に したがって滅菌した。

成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーアラニン	2.225	ニコチン酸アミド	2.25925
Lーアルギニン	50	ピリドキールHCI	2
LーアルギニンHCI	94.75	ピリドキシンHCI	0.2655
LーアスパラギンH₂O	16.2525	リボフラビン	0.2595
Lーアスパラギン酸	8.325	チアミンHCI	2.335
LーシステインHCI・H ₂ O	8.78	ビタミンB ₁₂	0.34125
Lーシスチン2HCI	47.5725	ヒポキサンチン	1.02
Lーグルタミン酸	8.675	リノール酸	0.021
Lーグルタミン	549.65	リポ酸(チオクト酸)	0.0525
グリシン	19.375	プロレッシン二塩酸塩	0.04025
Lーヒスチジン	23.165	チミジン	0.1825
Lーヒドロキシプロリン	5	塩化ナトリウム	6599.75
Lーイソロイシン	65.935	塩化カリウム	355.9
L ーロイシン	68.225	塩化カルシウム(無水)	108.305
LーリジンHCI	92.175	硝酸カルシウム4H ₂ O	25
Lーメチオニン	19.87	塩化マグネシウム(無水)	14.305
Lーフェニルアラニン	37.99	硫酸マグネシウム(無水)	61.055
Lープロリン	13.625	リン酸二水素ナトリウム (無水)	54.35
Lーセリン	31.125	リン酸一水素ニナトリウム(無水)	235.51
Lースレオニン	55.525	ブドウ糖(無水)	2325.5
Lートリプトファン	9.76	ピルビン酸ナトリウム	110
Lーチロシン	42.36	硝酸第二鉄9H ₂ O	0.05
L-バリン	54.825	硫酸銅5H₂O	0.000625
グルタチオン	0.25	· 硫酸第一鉄7H₂O	0.2085
パラアミノ安息香酸	0.25	· 旅酸亜鉛7H₂O	0.216
ビオチン	0.05185	亜セレン酸ナトリウム	0.000865
パントテン酸カルシウム	2.1825	フェノールレッド	6.56
塩化コリン	6.24	HEPES	3574.5
葉 酸	2.575	NaHCO₃	2000
イノシトール	16.85		

実施例2

ES細胞の培養および成長

ES細胞株としては、ES-D3 (ATCC, USA) を用いた。この細胞は、フィーダー細胞なしで培養することができるが、その場合には分化傾向を示すと 言われている。ES-D3細胞は、最初は、0.1%ゼラチン被覆プレート (Cell & Molecular Technologies, Inc., Phillipburg, NJ) で、15%ウシ胎児 血清、Lーグルタミン、0.1mM 2-メルカプトエタノール、ヌクレオシド、非必須アミノ酸、およびLIFを補充したダルベッコ改変イーグル培地 (Complete ES medium;以下CEMと称する、Cell & Molecular Technologies, Inc., Phillipburg, NJ) で維持した。CEM培地の組成を以下に示す。

ES-101-B Complete ES Cell Culture Media

Part Number Component

SLM-220 DMEM ES cell qualified, 400 ml TMS-002 L-Glutamine 8ml/400 ml media 4 ml nucleosides/400 ml media

ES-007 4 ml beta-mercaptoethanol/400 ml media

TMS-001 4 ml NEAA/400 ml media
ES-009 60 ml FBS/400 ml media
LIF 4 mlsLIF/400 ml media
TMS-AB2 4 ml Pen/Strep/400 ml media

Base Catalog #	SLM-220	Working pH range	7.0 - 7.4

Component	mg/L
INORGANIC SALT	
CaCl ₂ (anhyd.)	20
Fe(NO ₃)3-9H ₂ O	0.
KCI	40
MgSO ₄ (anhyd.)	97.67
NaCi	6400
NaHCO ₃	2250
NaH ₂ PO ₄ -H ₂ O	125
OTHER COMPONE	NTS
D-Glucose	4500
Phenol Red	15
HEPES	
Sodium Pyruvate	
VITAMINS	
D-Ca pantothenate	4
Chlorine Chloride	4
Folic Acid	4
i-Inositol	7.2
Niacinamide	4
Pyridoxal-HCl	4
Pyridoxine-HCI	
Riboflavin	0.4
Thiamine-HCl	4

5

Component	mg/L
AMINO ACIDS	
L-Arginine-HCI	8-
L-Cystine	
L-Cystine-2HCI	63
L-Glutamine	
Glycine	30
L-Histidine-HCl-H₂O	42
L-Isoleucine	105
L-Leucine	105
L-Lysine-HCl	146
L-Methionine	30
L-Phenylalanine	66
L-Serine	42
L-Threonine	95
L-Tryptophan	16
L-Tyrosine	
L-Tyrosine-2Na- 2H₂O	104
Valine	94

Base	Catalog	#	ES-008

Component	g/L
Cytidine	0.73
Guanosine	0.85
Uridine	0.73
Adenosine	8.0
Thymidine	0.24

 $75\,\mathrm{c}\,\mathrm{m}^2$ コーニング社プラスチックフラスコに $0.\,15\,\mathrm{m}\,\mathrm{g/m}\,\mathrm{l}\,\mathrm{o}$ コラーゲンタイプ $\mathrm{I}\,$ 溶液を $\mathrm{1}\,\mathrm{0}\,\mathrm{m}\,\mathrm{l}\,\mathrm{J}$ 入れ、乾燥させないように $\mathrm{1}\,\mathrm{2}$ 時間処理し、細胞播種直前に溶液を吸引除去した。 $\mathrm{E}\,\mathrm{S}\,\mathrm{F}\,\mathrm{r}$ 地に $\mathrm{6}\,\mathrm{B}\mathrm{F}\,$ ($\mathrm{1}\,\mathrm{0}\,\mathrm{\mu}\,\mathrm{g/m}\,\mathrm{l}\,\mathrm{r}$ ウシインスリン、 $\mathrm{5}\,\mathrm{\mu}\,\mathrm{g/m}\,\mathrm{l}\,\mathrm{t}$ ヒトトランスフェリン、 $\mathrm{1}\,\mathrm{0}\,\mathrm{\mu}\,\mathrm{M}$ $\mathrm{2}\,\mathrm{-}$ メルカプトエタノール、 $\mathrm{1}\,\mathrm{0}\,\mathrm{\mu}\,\mathrm{M}$ $\mathrm{2}\,\mathrm{-}$ アミノエタノール、 $\mathrm{1}\,\mathrm{0}\,\mathrm{n}\,\mathrm{M}$ 亜セレン酸ナトリウム、 $\mathrm{4}\,\mathrm{\mu}\,\mathrm{g}$

5

10

15

20

25

/m1無脂肪酸ウシ血清アルブミンと複合体化したオレイン酸)ならびに300 ユニット/m1のLIF(ESGRO(登録商標), Chemicon International Inc.)を添加した無血清培地(ESF7培地)を調製した。継代時は、ダルベッコ氏リン酸緩衝液にて洗浄後、0.001%トリプシン・0.01%EDTAにて細胞を10秒から30秒処理後、ピペッティングにて細胞を分散後、MCDB153溶液に溶解した0.1%トリプシンインヒビターにてトリプシンを中和し、ESF培地で細胞を集めて、遠心後、細胞をESF培地で分散、再度、遠心後、ESF7培地に細胞を分散させた。コラーゲン被覆フラスコに、ESF7培地中でES-D3細胞を $5-7\times10^3/m1$ の細胞密度で播種し、数日間培養したところ、接着性の弱い小型で境界が不明瞭でアルカリフォスファター活性陽性の細胞群がコロニーを形成して増殖した。

未分化表現型の判定は以下のようにして行った。細胞のアルカリホスファターゼ活性を検出するために、細胞を4.5 mMクエン酸, 2.25 mMクエン酸ナトリウム、3 mM塩化ナトリウム、65%メタノールおよび4%パラホルムアルデヒドで5分間固定し、洗浄し、次にFastRed基質キット(Nichirei Co., Tokyo, Japan)を用いて製造元の指針にしたがって、アルカリホスファターゼを可視化した。

OCT 3/4蛋白質発現を検出するためには、細胞をPBS中4%パラホルムアルデヒド (PFA) で4 $\mathbb C$ で16時間固定した。抗体とのインキュベートの前に、0.002%トリプシンを室温にて5分処理して細胞の透過性を増加させ、切片をメタノール中 $3\%H_2O_2$ で30分間インキュベートすることにより内在性ペルオキシダーゼ活性をブロックした。切片をマウス抗Oct3/4

(Transduction Laboratories, Lexington, KY) で免疫染色し、ペルオキシダーゼコンジュゲート化SimpleStain MAXPO(登録商標)ヤギ抗マウスIgG (NICHIREI Corporation, Tokyo, Japan) および3-アミノー9-エチルカルバゾールで可視化した。

Oct3/4発現のフローサイトメトリ分析を行うためには、ES細胞を、コラーゲンタイプ I で被覆した 90 mmプラスチックプレートでESF7中で、およびRD+2ME+FBS中で、およびゼラチン被覆プラスチックプレートでC

WO 2005/063968

5

15

20

25

EM中で、3 x 1 0 5 細胞を播種した。培養第6日に、細胞をPBS中トリプシン/EDTAでトリプシン処理し、次に0.1 Mリン酸緩衝液(pH7.4)中1%パラホルムアルデヒドで1時間固定した。細胞をPBS中1%サポニン(Sigma)中で室温で10分間処理して透過性を増加させた後、細胞を1mlの10%ヤギ血清(Nichirei)中に30分間懸濁し、遠心分離し、次に抗Oct3/4マウス抗体(Transduction Labolartories, Lexington, KY)とともに1時間インキュベートした。細胞を1%ヤギ血清を含有するPBSで3回洗浄し、次にフルオレセイン(FITC)ーコンジュゲート化ヤギ抗マウスIgG抗体(Immunotech, France)と30分間反応させた。細胞を1%ヤギ血清を含有す

10 るPBSで3回洗浄した。再懸濁した細胞をEpicsAltra(Beckman Coulter Co., Miami, FL)で分析した。

コラーゲン被覆フラスコでESF7培地中で5日間培養したES-D3細胞と、0.1%ゼラチン被覆フラスコでCEM中で5日間培養したES-D3細胞について、その細胞の形態を観察することにより表現型を比較した。ESF7培地中で成長したほとんどのES細胞は未分化のままであった。しかし、CEM中の培養物は、未分化細胞、線維芽細胞様細胞、上皮細胞様細胞および神経様細胞の混合物を含んでいた。ES細胞の未分化の性質は、通常は、幹細胞マーカー/〇ct3/4に対する抗体で染色された細胞の比率を決定することにより確認される。免疫組織化学的染色により、ESF7培地中のほとんどのES-D3細胞は〇ct3/4蛋白質を発現していたが、CEM中ではより少ない細胞が〇ct3/4を発現していた。フローサイトメトリを用いて調べたところ、ESF7培地中の95%以上の細胞が〇ct3/4蛋白質を発現していたが、CEM中では85%未満の細胞が〇ct3/4を発現していた(図1)。15%FBSおよび2-メルカプトエタノールを添加したRD栄養培地中では、〇ct3/4ポジティブ細胞のパーセンテージは60%未満であった。

実施例3

LIF濃度の影響

LIFがES-D3細胞の増殖に及ぼす影響を調べた。ES-D3細胞をタイ

LIFはES細胞の自己複製能および未分化性を維持するが、細胞の増殖には影響を及ぼさないことが知られている。しかしながら、図2に示されるように、ESF6培地(黒丸)においては、LIFは明らかに濃度依存的様式でES細胞増殖を刺激した。一方、15%FBSおよび2-メルカプトエタノールを補充したDMEM(黒三角)中では、LIFは細胞増殖にはほとんど影響を及ぼさなかった。すなわち、本発明の化学合成無血清ESF6培地を用いることにより、LIFのマウスES細胞に対するこれまでに知られていない活性を識別することが可能となった。

15 ESF7培地からLIFを除いた場合にも、ES-D3細胞の自発的分化は認められなかった。LIFの非存在下でFBSを培地に加えると、ES-D3細胞は線維芽細胞様細胞、上皮様細胞、および神経様細胞に分化した。このことは、ES-D3細胞がESF6培地中で未分化性を維持していたことを示す。

20 実施例 4

5

ES細胞の細胞増殖

ES-D3細胞を、タイプ I コラーゲンで被覆した24ーウエルプレート (Falcon)にESF7中で、およびゼラチンで被覆した24ウエルプレートに CEM中で、1x104細胞/ウエルで播種し、細胞増殖を比較した(図3)。 ES-D3細胞はCEM中でよく増殖した(黒三角; Td=9時間)。ES-D3細胞はESF7培地中ではCEM中よりゆっくりと増殖したが(黒丸; Td=11.8時間)、第6日における細胞密度はいずれの培地についてもほとんど同じであった。ES-D3細胞をESF7培地中で1年以上継続して培養しても、細胞はその形態を変化させず、アルカリホスファターゼ活性、Oct3/4およ

びSSEA-1を発現し続けた。

実施例5

ES 1298 v細胞の培養

ESF7培地がES 129Sv細胞の培養に及ぼす影響を調べた。10代継 5 代目の凍結129/SVES細胞(Cell & Molecular Technologies, Inc., Phillipburg, NJ) を購入し、これをフィーダー細胞上でCME中で維持した。 129/SVES細胞をタイプIコラゲナーゼを含むPBS中でピペッティング し、ESF7培地(2000ユニットのLIF/m1)でフィーダー細胞なしで コラーゲン被覆フラスコに接種した。ES 129Sv細胞はゆっくり増殖し, 10 神経様細胞も出現した。しかし、アルカリホスファターゼ活性および〇c t 3/ 4 抗体を用いる免疫組織学的発現の測定からES 129S v 細胞がESF 7 培 地中で分化することなく増殖したことがわかった。すなわち、本発明のES細胞 培養用培地を用いることにより、通常はフィーダー細胞上で増殖するES細胞も フィーダー細胞なしで増殖することが示された。ただし、継代時は、トリプシン 15 EDTAではなく、0.3ユニット/m1のコラゲナーゼタイプIA-Sを用い て,細胞を分散させた。

実施例 6

25

20 BMP 4, アクチビンAならびにFGF-2による分化誘導

ES-D3細胞を、ESF7中でラミニン被覆プラスチックプレートに接種し、2日間培養した。次に、培地をRD+5F培地(5因子を補充したRD)に交換した。RD培地は非ES細胞タイプについて一般に用いられている無血清合成培地用の基本培地である。BMP4の添加のためには、RD+5F培地にfatty acid free-BSA を補充した。

アクチビンAをRD+5Fに加えると、ES-D3細胞の線維芽細胞様細胞への分化が誘導された。BMP4を fatty acid free-BSA(無脂肪酸ウシ血清アルブミン)を補充したRD+5Fに加えると、ES細胞は上皮様細胞に分化した。これらの結果は、ES-D3細胞が成長因子に応答して、特定の経路に沿って分

5

10

15

25

化するよう誘導されうることを示す。ES-D3細胞を,ESF7中でラミニン被覆プラスチックプレートに接種し,2日間培養した。次に,培地をESF5に交換した。BMP4の添加のためには,ESF5にfatty acid free-BSA(無脂肪酸ウシ血清アルブミン)を補充した。あるいは,ES-D3細胞を,培地をESF5を用いて,ラミニン被覆プラスチックプレートに接種し,BMP4ならびにfatty acid free-BSAを添加して培養を行う。培地は2日毎に交換した。あるいは,ES-D3細胞を,培地をESF5を用いて,ラミニン被覆プラスチックプレートに接種し,FGF-2ならびにヘパリン,あるいは,FGF-2とヘパリンとNGF,あるいは,FGF-2とヘパリンとPDGF-AAを添加し,1日培養後,それぞれ漕辱因子のみ添加し,さらに培養2日目に培地をESF5に培地交換し、培養を行った。培地は2日毎に交換した。

アクチビンAをESF5に加えると、ES-D3細胞の線維芽細胞様細胞への分化が誘導された。BMP4を fatty acid free-BSA(無脂肪酸ウシ血清アルブミン)を補充したESF5に加えると、ES細胞は上皮様細胞に分化した。FGF-2とヘパリン、あるいはさらにNGF、あるいはPDGF-AAをESF5に加えると、神経様細胞に分化した。これらの結果は、ES-D3細胞が成長因子に応答して、特定の経路に沿って分化するよう誘導されうることを示す。

実施例7

20 ES C57/BL6J ES細胞の培養

ESF7培地が C57/BL6J ES細胞の培養に及ぼす影響を調べた。 10代継代の凍結C57/BL6J ES細胞(Cell & Molecular Technologies, Inc., Phillipburg, NJ)を購入し、これをフィーダー細胞上でCME中で維持した。 C57/BL6J ES細胞をPBSのみにて、あるいはタイプ Iコラゲナーゼを含むPBS中でピペッティングし、ESF7培地(3000ユニットのLIF/m1)でフィーダー細胞なしでコラーゲン被覆フラスコに接種した。 C57/BL6J ES細胞は未分化なコロニーを作り、ゆっくり増殖した。すなわち、本発明のES細胞培養用培地を用いることにより、通常はフィーダー細胞上で増殖するES細胞もフィーダー細胞なしで増殖することが示された。

WO 2005/063968 PCT/JP2004/019818

19

産業上の利用性

本発明にしたがう培地を用いることにより、フィーダー細胞なしで、未分化性を維持したままES細胞を長期に無血清培養することができるため、ES細胞の成長および分化誘導に有用である。

5

請求の範囲

1. 以下の表 I:

WO 2005/063968

5 表I

L−アラニン	成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーアルギニン 40~60 ニコチン酸アミド 1.8074~2.7111 LーアルギニンHCI 75.8~113.7 ピリドキサールHCI 1.6~2.4 LーアスパラギンH₂O 13.002~19.503 ピリドキシンHCI 0.2124~0.3186 Lーアスパラギン酸 6.66~9.99 リボフラピン 0.2076~0.3114 LーシステインHCI・H₂O 7.024~10.536 チアミンHCI 1.868~2.802 Lーシステン2HCI 38.058~57.087 ビタミンB1₂ 0.273~0.4095 Lーグルタミン酸 6.94~10.41 ヒポキサンチン 0.816~1.224 Lーグルタミン 439.72~659.58 リノール酸 0.0168~0.0252 グリシン 15.5~23.25 リポ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 Lービスチジン 3~30 プロレッシンニ塩酸塩 0.0322~0.0483 Lービドロキシブロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.06 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lーナリン 24.9~37.35 リン酸ー水素ニナトリウム(無水)			イノシトール	**************************************
LーアルギニンHC 75.8~113.7 ピリドキサールHC 1.6~2.4 LーアスパラギンH2O 13.002~19.503 ピリドキシンHC 0.2124~0.3186 Lーアスパラギン酸 6.66~9.99 リポフラピン 0.2076~0.3114 LーシステインHC ・H2O 7.024~10.536 チアミンHC 1.868~2.802 Lーシステン2HC 38.058~57.087 ピタェンB12 0.273~0.4095 Lーグルタミン酸 6.94~10.41 ヒポキサンチン 0.816~1.224 Lーグルタミン酸 439.72~659.58 リノール酸 0.0168~0.0252 グリシン 15.5~23.25 リポ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 Lーヒスチジン 3~30 プロレッシンニ塩酸塩 0.0322~0.0483 Lーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHC 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lーセリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム (無水) 48.844~73.266 Lーレーフトラテン 30.382~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.844~73.266 Lーレーフトラテン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 188.408~282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 188.408~282.612 Lーデロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H2O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸卵5H2O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸卵5H2O 0.1668~0.2502 ピオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H2O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872		40~60	ニコチン酸アミド	1.8074~2.7111
Lーアスパラギン酸 6.66~9.99 リボフラビン 0.2076~0.3114 LーシステインHCI・H₂O 7.024~10.536 チアミンHCI 1.868~2.802 Lーシスチン2HCI 38.058~57.087 ビタミンB₁₂ 0.273~0.4095 Lーグルタミン酸 6.94~10.41 ヒポキサンチン 0.816~1.224 Lーグルタミン 439.72~659.58 リノール酸 0.0168~0.0252 グリシン 15.5~23.25 リポ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 Lーヒスチジン 3~30 プロレッシン二塩酸塩 0.0322~0.0483 Lーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム4H₂O 20~30 Lーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lーセリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム (無水) 43.48~65.22 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 レーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H₂O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸第5H₂O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第5H₂O 0.1668~0.2502 ピオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H₂O 0.1728~0.2502 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~ 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	<u></u>	75.8~113.7	ピリドキサールHCI	1.6~2.4
LーシステインHCI・H ₂ O 7.024~10.536	LーアスパラギンH2O	13.002~19.503	ピリドキシンHCI	0.2124~0.3186
レーシスチン2HCI 38.058~57.087 ビタミンB ₁₂ 0.273~0.4095 Lーグルタミン酸 6.94~10.41 ヒポキサンチン 0.816~1.224 Lーグルタミン 439.72~659.58 リノール酸 0.0168~0.0252 グリシン 15.5~23.25 リボ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 Lーヒスチジン 3~30 プロレッシンニ塩酸塩 0.0322~0.0483 Lーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lープロリン 24.9~37.35 リン酸ー水素ニナトリウム (無水) 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム (無水) 1860.4~2790.6 Lードリジトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lープロシ 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H₂O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H₂O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸亜鉛7H₂O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H₂O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000682~0.000348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーアスパラギン酸	6.66~9.99	リボフラビン	0.2076~0.3114
Lーグルタミン酸 6.94~10.41 ヒポキサンチン 0.816~1.224 Lーグルタミン 439.72~659.58 リノール酸 0.0168~0.0252 グリシン 15.5~23.25 リポ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 Lーヒスチジン 3~30 プロレッシンニ塩酸塩 0.0322~0.0483 Lービドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カリウム 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム4H ₂ O 20~30 Lーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lープロリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ニナトリウム(無水) 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム(無水) 1860.4~2790.6 Lーデロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第三鉄9H ₂ O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸第5H ₂ O	LーシステインHCI・H₂O	7.024~10.536	チアミンHCl	1.868~2.802
レーグルタミン 439.72~659.58 リノール酸 0.0168~0.0252 グリシン 15.5~23.25 リポ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 しーヒスチジン 3~30 プロレッシンニ塩酸塩 0.0322~0.0483 しーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 5279.8~7919.7 しーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 しーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 しーリジンHGI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 しーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム4H₂O 20~30 しーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 しープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 しーゼリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム (無水) 48.844~73.266 しーセリン 44.42~66.63 リン酸一水素ニナトリウム (無水) 188.408~282.612 しートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 しーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 しーパリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H₂O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H₂O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第一鉄7H₂O 0.1668~0.2502 ピオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H₂O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーシスチン2HCI	38.058~57.087	ビタミンB ₁₂	0.273~0.4095
プリシン 15.5~23.25 リポ酸(チオクト酸) 0.042~0.063 Lーヒスチジン 3~30 プロレッシン二塩酸塩 0.0322~0.0483 Lーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム4H ₂ O 20~30 Lーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lーセリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム (無水) 188.408~282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H ₂ O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H ₂ O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第一鉄7H ₂ O 0.1728~0.2592 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H ₂ O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーグルタミン酸	6.94~10.41	ヒポキサンチン	0.816~1.224
Lーヒスチジン 3~30 プロレッシン二塩酸塩 0.0322~0.0483 Lーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム4H ₂ O 20~30 Lーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lープロリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム (無水) 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム 282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H ₂ O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H ₂ O 0.005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第一鉄7H ₂ O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H ₂ O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~ 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーグルタミン	439.72~659.58	リノール酸	0.0168~0.0252
Lーヒドロキシプロリン 4~6 チミジン 0.146~0.219 Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カリウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム(無水) 20~30 Lーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lーセリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム(無水) 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム(無水) 188.408~282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H ₂ O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H ₂ O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H ₂ O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッ	グリシン	15.5~23.25	リポ酸(チオクト酸)	0.042~0.063
Lーイソロイシン 52.748~79.122 塩化ナトリウム 5279.8~7919.7 Lーロイシン 54.58~81.87 塩化カリウム 284.72~427.08 LーリジンHCI 73.74~110.61 塩化カルシウム(無水) 86.644~129.966 Lーメチオニン 15.896~23.844 硝酸カルシウム4H₂O 20~30 Lーフェニルアラニン 30.392~45.588 塩化マグネシウム(無水) 11.444~17.166 Lープロリン 10.9~16.35 硫酸マグネシウム(無水) 48.844~73.266 Lーセリン 24.9~37.35 リン酸ニ水素ナトリウム (無水) 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム (無水) 188.408~282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H₂O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸第5H₂O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H₂O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーヒスチジン	3~30	プロレッシン二塩酸塩	0.0322~0.0483
Lーロイシン54.58~81.87塩化カリウム284.72~427.08LーリジンHCI73.74~110.61塩化カルシウム(無水)86.644~129.966Lーメチオニン15.896~23.844硝酸カルシウム4H2O20~30Lーフェニルアラニン30.392~45.588塩化マグネシウム(無水)11.444~17.166Lープロリン10.9~16.35硫酸マグネシウム(無水)48.844~73.266Lーセリン24.9~37.35リン酸ニ水素ナトリウム (無水)43.48~65.22Lースレオニン44.42~66.63リン酸ー水素ニナトリウム (無水)188.408~282.612Lートリプトファン7.808~11.712ブドウ糖(無水)1860.4~2790.6Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸亜鉛7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lーヒドロキシプロリン	4~6	チミジン	0.146~0.219
LーリジンHCI73.74~110.61塩化カルシウム(無水)86.644~129.966Lーメチオニン15.896~23.844硝酸カルシウム4H2O20~30Lーフェニルアラニン30.392~45.588塩化マグネシウム(無水)11.444~17.166Lープロリン10.9~16.35硫酸マグネシウム(無水)48.844~73.266Lーセリン24.9~37.35リン酸ニ水素ナトリウム (無水)43.48~65.22Lースレオニン44.42~66.63リン酸ー水素ニナトリウム (無水)188.408~282.612Lートリプトファン7.808~11.712ブドウ糖(無水)1860.4~2790.6Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lーイソロイシン	52.748~79.122	塩化ナトリウム	5279.8~7919.7
Lーメチオニン15.896~23.844硝酸カルシウム4H2O20~30Lーフェニルアラニン30.392~45.588塩化マグネシウム(無水)11.444~17.166Lープロリン10.9~16.35硫酸マグネシウム(無水)48.844~73.266Lーセリン24.9~37.35リン酸二水素ナトリウム (無水)43.48~65.22Lースレオニン44.42~66.63リン酸一水素二ナトリウム (無水)188.408~282.612Lートリプトファン7.808~11.712ブドウ糖(無水)1860.4~2790.6Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	L-ロイシン	54.58~81.87	塩化カリウム	284.72~427.08
Lーフェニルアラニン30.392~45.588塩化マグネシウム(無水)11.444~17.166Lープロリン10.9~16.35硫酸マグネシウム(無水)48.844~73.266Lーセリン24.9~37.35リン酸ニ水素ナトリウム (無水)43.48~65.22Lースレオニン44.42~66.63リン酸ー水素ニナトリウム (無水)188.408~282.612Lートリプトファン7.808~11.712ブドウ糖(無水)1860.4~2790.6Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	LーリジンHCI	73.74~110.61	塩化カルシウム(無水)	86.644~129.966
Lープロリン10.9~16.35硫酸マグネシウム(無水)48.844~73.266Lーセリン24.9~37.35リン酸ニ水素ナトリウム (無水)43.48~65.22Lースレオニン44.42~66.63リン酸ー水素ニナトリウム (無水)188.408~282.612Lートリプトファン7.808~11.712ブドウ糖(無水)1860.4~2790.6Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lーメチオニン	15.896~23.844	硝酸カルシウム4H ₂ O	20~30
Lーセリン24.9~37.35リン酸ニ水素ナトリウム (無水)43.48~65.22Lースレオニン44.42~66.63リン酸ー水素ニナトリウム (無水)188.408~282.612Lートリプトファン7.808~11.712ブドウ糖(無水)1860.4~2790.6Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lーフェニルアラニン	30.392~45.588	塩化マグネシウム(無水)	11.444~17.166
Lーセリン 24.9~37.35 (無水) 43.48~65.22 Lースレオニン 44.42~66.63 リン酸ー水素ニナトリウム (無水) 188.408~ 282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H2O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H2O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第一鉄7H2O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H2O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~ 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lープロリン	10.9~16.35	硫酸マグネシウム(無水)	48.844~73.266
Lースレオニシ 44.42~66.63 (無水) 282.612 Lートリプトファン 7.808~11.712 ブドウ糖(無水) 1860.4~2790.6 Lーチロシン 33.888~50.832 ピルビン酸ナトリウム 0.001~220 Lーバリン 43.86~65.79 硝酸第二鉄9H2O 0.04~0.06 グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H2O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第一鉄7H2O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H2O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーセリン	24.9~37.35	1	43.48~65.22
Lーチロシン33.888~50.832ピルビン酸ナトリウム0.001~220Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~ 0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lースレオニン	44.42~66.63		
Lーバリン43.86~65.79硝酸第二鉄9H2O0.04~0.06グルタチオン0.2~0.3硫酸銅5H2O0.0005~0.00075パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lートリプトファン	7.808~11.712	ブドウ糖(無水)	1860.4~2790.6
グルタチオン 0.2~0.3 硫酸銅5H ₂ O 0.0005~0.00075 パラアミノ安息香酸 0.2~0.3 硫酸第一鉄7H ₂ O 0.1668~0.2502 ビオチン 0.04148~0.06222 硫酸亜鉛7H ₂ O 0.1728~0.2592 パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~ 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	Lーチロシン	33.888~50.832	ピルビン酸ナトリウム	0.001~220
パラアミノ安息香酸0.2~0.3硫酸第一鉄7H2O0.1668~0.2502ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~ 0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	Lーバリン	43.86~65.79	硝酸第二鉄9H₂O	0.04~0.06
ビオチン0.04148~0.06222硫酸亜鉛7H2O0.1728~0.2592パントテン酸カルシウム1.746~2.619亜セレン酸ナトリウム0.000692~0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	グルタチオン	0.2~0.3	硫酸銅5H₂O	0.0005~0.00075
パントテン酸カルシウム 1.746~2.619 亜セレン酸ナトリウム 0.000692~ 0.00348 塩化コリン 4.992~7.488 フェノールレッド 5.248~7.872	パラアミノ安息香酸	0.2~0.3	硫酸第一鉄7H₂O	0.1668~0.2502
バントテン酸ガルシウム1.746~2.619単ゼレン酸ナトリウム0.00348塩化コリン4.992~7.488フェノールレッド5.248~7.872	ビオチン	0.04148~0.06222	硫酸亜鉛7H ₂ O	0.1728~0.2592
	パントテン酸カルシウム	1.746~2.619	亜セレン酸ナトリウム	1
葉酸 2.06~3.09	塩化コリン	4.992~7.488	フェノールレッド	5.248~7.872
	葉酸	2.06~3.09		

に示される組成を有することを特徴とする、ES細胞培養用培地を調製するため

の基礎培地。

2. 以下の表 I I:

表II

成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーアラニン	1.78~2.67	葉酸	2.06~3.09
Lーアルギニン	40~60	イノシトール	13.48~20.22
LーアルギニンHCI	75.8~113.7	ニコチン酸アミド	1.8074~2.7111
LーアスパラギンH₂O	13.002~19.503	ピリドキサールHCI	1.6~2.4
Lーアスパラギン酸	6.66~9.99	ピリドキシンHCI	0.2124~0.3186
LーシステインHCI・H₂O	7.024~10.536	リボフラビン	0.2076~0.3114
Lーシスチン2HCI	38.058~57.087	チアミンHCI	1.868~2.802
Lーグルタミン酸	6.94~10.41	ビタミンB ₁₂	0.273~0.4095
Lーグルタミン	439.72~659.58	ヒポキサンチン	0.816~1.224
グリシン	15.5~23.25	リノール酸	0.0168~0.0252
Lーヒスチジン	3~30	リポ酸(チオクト酸)	0.042~0.063
Lーヒドロキシプロリン	4~6	プロレッシンニ塩酸塩	0.0322~0.0483
Lーイソロイシン	52.748~79.122	チミジン	0.146~0.219
L一口イシン	54.58~81.87	塩化ナトリウム	5279.8~7919.7
LーリジンHCI	73.74~110.61	塩化カリウム	284.72~427.08
Lーメチオニン	15.896~23.844	塩化カルシウム(無水)	86.644~129.966
Lーフェニルアラニン	30.392~45.588	硝酸カルシウム4H₂O	20~30
Lープロリン	10.9~16.35	塩化マグネシウム(無水)	11.444~17.166
Lーセリン	24.9~37.35	硫酸マグネシウム(無水)	48.844~73.266
Lースレオニン	44.42~66.63	リン酸二水素ナトリウム (無水)	43.48~65.22
Lートリプトファン	7.808~11.712	リン酸一水素ニナトリウム (無水)	188.408~ 282.612
Lーチロシン	33.888~50.832	ブドウ糖(無水)	1860.4~2790.6
Lーバリン	43.86~65.79	ピルビン酸ナトリウム	0.001~220
グルタチオン	0.2~0.3	硝酸第二鉄9H ₂ O	0.04~0.06
パラアミノ安息香酸	0.2~0.3	硫酸銅5H ₂ O	0.0005~0.00075
ビオチン	0.04148~0.06222	硫酸第一鉄7H ₂ O	0.1668~0.2502
パントテン酸カルシウム	1.746~2.619	硫酸亜鉛7H ₂ O	0.1728~0.2592
塩化コリン	4.992~7.488	フェノールレッド	5.248~7.872

5

に示される組成を有することを特徴とする、ES細胞培養用培地を調製するための基礎培地。

WO 2005/063968 PCT/JP2004/019818

3. 以下の表 I I I:

表III

成分	濃度(mg/L)	成分	濃度(mg/L)
Lーアラニン	1.78~2.67	葉酸	2.06~3.09
Lーアルギニン	40~60	イノシトール	13.48~20.22
LーアルギニンHCI	75.8~113.7	ニコチン酸アミド	1.8074~2.7111
LーアスパラギンH₂O	13.002~19.503	ピリドキサールHCI	1.6~2.4
Lーアスパラギン酸	6.66~9.99	ピリドキシンHCI	0.2124~0.3186
LーシステインHCI・H₂O	7.024~10.536	リボフラビン	0.2076~0.3114
Lーシスチン2HCI	38.058~57.087	チアミンHCl	1.868~2.802
Lーグルタミン酸	6.94~10.41	ビタミンB ₁₂	0.273~0.4095
Lーグルタミン	439.72~659.58	ヒポキサンチン	0.816~1.224
グリシン	15.5~23.25	リノール酸	0.0168~0.0252
Lーヒスチジン	3~30	リポ酸(チオクト酸)	0.042~0.063
Lーヒドロキシプロリン	4~6	プロレッシン二塩酸塩	0.0322~0.0483
Lーイソロイシン	52.748~79.122	チミジン	0.146~0.219
Lーロイシン	54.58~81.87	塩化ナトリウム	5279.8~7919.7
LーリジンHCI	73.74~110.61	塩化カリウム	284.72~427.08
Lーメチオニン	15.896~23.844	塩化カルシウム(無水)	86.644~129.966
Lーフェニルアラニン	30.392~45.588	硝酸カルシウム4H ₂ O	20~30
Lープロリン	10.9~16.35	塩化マグネシウム(無水)	11.444~17.166
L-セリン	24.9~37.35	硫酸マグネシウム(無水)	48.844~73.266
Lースレオニン	44.42~66.63	リン酸二水素ナトリウム (無水)	43.48~65.22
レートリプトファン	7.808~11.712	リン酸ー水素ニナトリウム (無水)	188.408~ 282.612
Lーチロシン	33.888~50.832	ブドウ糖(無水)	1860.4~2790.6
Lーバリン	43.86~65.79	硝酸第二鉄9H₂O	0.04~0.06
グルタチオン	0.2~0.3	硫酸銅5H ₂ O	0.0005~0.00075
パラアミノ安息香酸	0.2~0.3	硫酸第一鉄7H ₂ O	0.1668~0.2502
ビオチン	0.04148~0.06222	硫酸亜鉛7H₂O	0.1728~0.2592
パントテン酸カルシウム	1.746~2.619	フェノールレッド	5.248~7.872
塩化コリン	4.992~7.488		

- 5 に示される組成を有することを特徴とする、ES細胞培養用培地を調製するため の基礎培地。
 - 4. 2. 5~4. 5g/LのHEPES, および所望のpHに調節するために

必要な量の $NaHCO_3$ をさらに含む、請求項1-3のいずれかに記載の基礎培地。

- 5. 請求項4記載の基礎培地、インスリン、トランスフェリン、2ーメルカプ トエタノール、2ーエタノールアミン、亜セレン酸ナトリウム、無脂肪酸ウシ血 清アルブミンと複合体化したオレイン酸、およびLIF(白血病抑制因子)を含む、ES細胞培養用培地。
- 6. 請求項5記載のES細胞培養用培地を用いることを特徴とする, ES細胞 の培養方法。

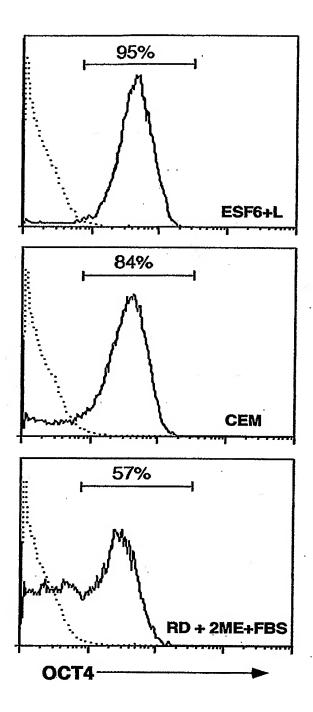


図 1

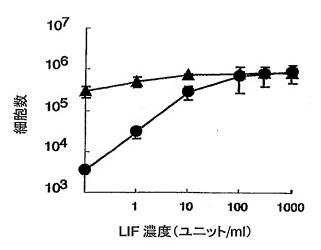


図 2

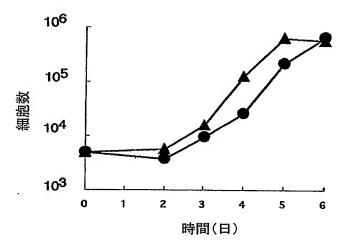


図 3

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/019818

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl ⁷ Cl2N5/06, Cl2N5/08						
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC						
B. FIELDS SEARCHED						
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int.Cl ⁷ C12N5/06, C12N5/08						
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched						
Electronic data b BIOSIS	ase consulted during the international search (name of da'WPI (DIALOG), MEDLINE (STN), JSTI	ata base and, where practicable, search te	rms used)			
C. DOCUMEN	ITS CONSIDERED TO BE RELEVANT					
Category*	Citation of document, with indication, where app	ropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.			
X Y		ologies, Inc.), 9857349 A 2002/0076747 A1	1-4 5-6			
A		national, Inc.), 9476744 A 52619 Al	5-6			
A	JP 2001-520036 A (Geron Corp. 30 October, 2001 (30.10.01), & WO 99/20741 A1 & AU & EP 1025204 A1 & AU & US 2003/0175956 A1	9912771 A	1-6			
	L'at l'athe engineering of Pay C	See natent family anney				
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family				
Date of the actual completion of the international search 21 January, 2005 (21.01.05)		Date of mailing of the international sea 08 February, 2005	rch report (08.02.05)			
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer				
Facsimile No. Form PCT/ISA/2	Facsimile No. Telephone No. Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2004)					

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/019818

A JP 2003-111588 A (Geron Corp.), 15 April, 2003 (15.04.03), & WO 2001/51616 A2

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))					
Int. C1	C12N5/06, C12N5/08				
カー・マー・	λ⇒ → Λ ms				
	行った分野 最小限資料(国際特許分類(IPC))	W			
Int. C1	C12N5/06, C12N5/08				
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの					
	•				
国際調査で使	用した電子データベース(データベースの名称、	調査に使用した用語)			
BIOSIS	S/WPI(DIALOG), MEDLINE(STN), JSTPlus/JST758	0 (J0IS)			
C. 関連す	ると認められる文献	•			
引用文献の		19 t.A.	関連する		
カテゴリー*			請求の範囲の番号		
X/Y	JP 2001-508302 A (ライフ テクノロド) 2001.06.26	コジーズ,インコーポレイテッ	1-4/5-6		
	& WO 98/30679 A1 & AU 9857349 A	& EP 986635 A1			
	& US 2002/0076747 A1				
Y	JP 9-505462 A (バクスター, インタ	ーナショナル、インコーポレ	5–6		
	イテッド) 1997.06.03				
	& WO 95/06112 A1 & AU 9476744 A	& EP 719326 A1			
	& SG 52619 A1 & IL 110755 A		,		
		· ·			
区欄の続きにも文献が列挙されている。			紙を参照。		
* 引用文献		の日の後に公表された文献	とかるかあれると、ア		
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって もの 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論					
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日の理解のために引用するもの					
以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの					
	くは他の特別な理由を確立するために引用する	「Y」特に関連のある文献であって、当	当該文献と他の1以		
	文献(理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの				
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献					
国際調査を完了した日 21.01.2005		国際調査報告の発送日 08.02.2	005		
国際調査機関の名称及びあて先・特割		特許庁審査官(権限のある職員)	4B 2936		
日本国特許庁 (ISA/JP) 飯室 里美		L			
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 管		電話番号 03-3581-1101	内線 3448		

国際調査報告

C(続き).	関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号		
A	JP 2001-520036 A (ジェロン・コーポレーション) 2001.10.30 & WO 99/20741 A1 & AU 9912771 A & EP 1025204 A1 & AU 200072356 A & US 2003/0175956 A1	1-6		
A	JP 2003-111588 A (ジェロン・コーポレーション) 2003.04.15 & WO 2001/51616 A2 & AU 200111128 A & AU 200126395 A & US 2002/0019046 A1 & US 2002/0022268 A1 & US 2002/0072117 A1 & US 2002/0081724 A1 & US 2002/0090723 A1 & US 2002/0137204 A1 & US 2002/0151053 A1 & EP 1250420 A2 & US 2002/0168766 A1 & US 2003/0017589 A1 & JP 2003-111588 A & CN 1416462 A & AU 2002301213 A1 & US 2004/0235159 A1	1-6		
*				
·				
1				
		- 50		
,				